西の池学園

「緩和ケア・看取り」について

十一月七日、広島県緩和ケアアドバイザー派遣事業により「在宅緩和ケア・看取り研修」を開催しました。研修では、本人・家族の思いを基に「看取り・看護計画」を作成すること、また看取りのマニュアル「看取り指針」を作成し職員で共有することの必要性を言われました。

昨年、私の担当利用者であったAさんは大腸ガンで余命1年の診断を受けました。「西の池学園に居たい」という御本人の望みを大切に、最後まで好きな事や楽しい事ができるよう支援を行いました。やがて食べることができなくなり、痛みのコントロールも困難になったことで、やむを得ず入院し、その3週間後、10月14日に87歳の生涯を終えられました。

西の池学園では、利用者の高齢化がすすみ、施設での看取りが課題となっています。職員は利用者の死に向き合うことに少なからず不安を感じています。Aさんの看取りについても手探りの状態でしたが、Aさんから言われた「いつもようしてくれるのぉ」との言葉を励みに最後まで精いっぱい努めることができました。

今回の研修で得た知識と、Aさんから学んだ経験を基にして、西の池学園の「看取り指針」を作成したいと思います。そして本人の思いを職員で共有して、その人らしい最期を支えていきたいと思っています。

西の池学園　西部　義員

グループホーム

ホームに来て良かった

Kさんは、約11年半、西の池学園（入所）で生活されていましたが、職員からグループホームの話を聞いた際に興味を持たれ、10月から「ホーム花はな」で生活をすることになりました。

Kさんは、学園では他の人と過ごすことが苦手で、時折、トラブルもありました。グループホームでの車イス生活にも不安がありました。

現在、日中は竹原にある同法人の多機能型事業所あさひを利用しています。車イスはホームに置いて行き、あさひでは職員の介助で歩いて移動しておられます。

ホームでは穏やかに過ごし、「洗濯や入浴など、一人でできることが増えてうれしい。皆やさしい。ホームに来てよかった」と笑顔で話しておられます。私も、以前のKさんを知っていますが、何事にも前向きに取り組まれる姿に驚かされてばかりです。

これからも、Kさんに、「ホームに来て良かった。」という思いを持ち続けてもらえるように、Kさんと関わっていきたいと思います。

グループホーム　芝田　治子

新しい生活介護事業所を開設します。

平成30年という新しい年を迎え、我が法人も平成会となって30年という節目の年となります。この節目の年、4月に高屋町宮領地区に生活介護事業所を開設いたします。

平成会では、平成18年にデイセンターこだま、平成25年に竹原にあさひを開設してきましたが、現在でも新たに利用を希望される方が多く、今後も皆様に、長く安心してご利用頂きたいとの想いで開設の運びとなりました。この「宮領デイセンター」は「発達障害のある方が過ごしやすい環境を」とのコンセプトで設計されています。集団活動で楽しい時間を過ごすだけでなく、個別支援に重点を置き、個々の特性に合わせてスキル習得のためのプログラムを設定し、できることを増やしていける支援を行うことを計画しています。安心できる環境の中で様々な活動を体験し、豊かな生活・人生につながる一端を担えればと考えています。

宮領地区の仲間に入れて頂けることを職員一同楽しみにしております。お散歩などでみなさんとお会いできる機会も増えると思いますが、地域福祉の拠点となるべく邁進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

相談支援センターこだま
浅野　正道

小谷秋の大収穫祭

朝夕日ごとにグッと冷え込みが増して、実りの秋となりました。

この収穫祭開催のために、今年も７月から会議を重ね、準備をして下さった平成会の皆さま、うどん販売をしていただいたおやじの会の皆さま、美味しい炊き込みご飯を手作りしていただいたＪＡ小谷女性部の皆さま、本当にありがとうございました。

あいにくの台風のために、クイズなど外での催しは残念ながらできない物もありました。しかしながら、この天候にもかかわらず何度も足を運んでくださるお客様もいらして、用意していたミカンやカキ、小谷地区で採れた農産物などは、ほぼ完売することができました。

会場内では、岡田良二さんにも歌とギター演奏で盛り上げていただきました。

ご協力いただいた皆さまには感謝申し上げます。

小谷地区市民協働まちづくり協議会　健康福祉部会会計
稲田　さゆり

「小谷秋の大収穫祭」を10月28日に総合活動センターで開催しました。

今年で８回目を迎え、すっかり小谷地域の行事として定着してきました。２年前から「小谷小学校区市民協働まちづくり協議会」との共催となり、健康福祉部会のみなさんと打合せをしながら実施しています。昨年以上の来場者を迎えることができるように、また皆様が楽しんでもらえるようにと、会議を重ね準備をしました。

しかし、当日はあいにくの雨。「今年の来場者は少ないかな」と、心配していましたが、会場にはたくさんの笑顔がありました。地元農家生産ブースの盛り上がりはもちろん、食品ブースのうどんをおいしそうに頬張る姿や、無邪気にゲームで楽しむ子どもたち。そして最後はくじ引き抽選会で会場は大賑わい。その頃には、降り続いていた雨もぴたりと上がり、たくさんの笑顔を収穫させていただきました。

関係者の方々には多大なるご協力をいただき本当にありがとうございました。今後も地域に根差した活動を通じて、小谷地域が益々活性化するよう取り組んでいきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。

放課後等デイサービス事業所　夕凪　瀧岡　哲

繕い物のボランティア ありがとうございます。

今年の夏、地域の方から「繕い物があればお手伝いしますよ」と声をかけて頂きました。小谷の地域で健康体操や趣味の活動をしておられる『わらおう会』の皆さんです。

西の池学園では利用者のソックスや下着など、ひとつひとつ名札の布を縫いつけるのは大変手間のかかる作業です。さっそくお願いしたところ快く引き受けてくださり、笑顔で楽しくおしゃべりしながらあっという間に繕いものを仕上げてくださいました。

繕い物のボランティアを通して、地域の中であたたかく見守っていただいているということを感じ、とてもありがたく思っています。

西の池学園　野村　ゆかり

「わらおう会」の皆さま